

四季の歌

心映の投句
俳句・短歌教室の詠歌紹介

ともしび短歌会短歌詠草

初日の出で積む白雪のきらめきて新らしき年静かに明くる
高だかとしげる山茶花紅白の花咲き盛り新春を寿ぐ
信州の風と香りを閉じこめて豊かなる林檎姪より届きぬ
春に咲く花植え終えて背を伸ばす頭上に青き冬の月あり
色かたちよき富有柿並ぶ箱柚子添え歌友の送りてくるる

岡野富生
加治 智子
三村 和子
越智 早苗
福田 昌

サンヒルズふくち会・はな句会

池田一歩選

戻り来て一日の寒のこもる部屋
新らしき年を迎へし福白髪
山影の湖面に映えて浮寝鴨
孫ひ孫泣いては笑ひ年始かな
今は子に頼りきりなる年用意
教へ子も老人会員初笑
幼子の雪にまみれて泣き笑ひ
三歳児一芸見せて初笑
紅葉も早雪のせる頃となる
兵役の恐れは昔御代の春

永末 公恵
宇野美奈子
熊谷カツミ
田口さとし
本島真知子
桑野 園女
柴田ヒサエ
持丸テル子
中西ナルエ
池田 駒女

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

寿ぎの空へ梯子や出初式
乾坤の神のまなざし雪降れり
閻王の憤怒の相や寒地獄
雪を被し英彦に鬼杉行者杉
煤逃げや携帯電話OFFにして
神楽果て太古の空を仰ぎけり
髪切りしお洒落心が風邪を引く
浮寝鳥波のゆりかご夢いくつ
休み田にカラスも容れて冬温し
思ひ出す賀状の人のみな笑顔

建部三由紀
松岡 萬枝
日比生利子
永尾喜美江
長副美恵子
迫田 昌子
今井三千代
富山 玲子
小川 雪
花石かほる

方城句会

池田一歩選

病窓に遠き師走の街灯
お降りや去年の足音消してをり
比叡山雪を拜して賀客かな
住職の声にならふて初詣経
初風やクルスの丘の展望台
竹はじく音の響きてどんどこな
寒月や窓辺に寄せて椅子二つ
うたた寝に恋の狐火通ひけり
働くを樂しみとして去年今年
病膳に蕪盛られて家恋し
灰色の雲のひろがり山眠る

松本美根弥
野村 鈴子
長尾 淳子
桑野 昌宜
白石 凡子
渡邊 一枝
尾崎 和子
藤井耿之介
杉 フジエ
倉石嘉代子
木村 誠一

福智の風

▶「60年足らず前には地元のレストランで給仕してもらえなかったであろう父を持つ男が、こうして皆さんの前で宣誓できる」。200万人以上の聴衆の前で、オバマ大統領はこの就任演説の歴史的意義を表し、先人が独立革命に希望と美徳をもって立ち向かったことを掲げ、再生を強調しました。「希望」と「美徳」、たった2つの短い言葉ですが、逆風の厳しい時代こそ忘れてはならない、ひたむきなキーワードだと共感しました。(長野)

▶今年の仕事始めは、元旦に初日の出登山撮影のはずでしたが、悪天候のため雪景色撮影に。吹きつける雪が容赦なく体をぬらす寒さの中、カメラ片手に駆け回りました。おかげで、誰もいない真つさらな銀世界を一人占めすることができ、何だか少し得た気分。ただ、自分の日ごろの行いがいけないのか、ここ数年間は天候に恵まれず、残念ながら初日の出はまだ撮ったことがありません。(昌太郎)

▶大人は子どもに「ありがとう」や「ごめんなさい」が言える子に」と言いますが、素直に感謝を表したり謝罪したりする言葉は、大人になるほど意外と言えなくなる気がします。「人の行動は自分がそうさせている」「腹が立ったら自分に原因を求めて」。成人式で贈られた激励の言葉に普段の言動を見つめ直してみると、自分の未熟さに反省させられました。自戒の念を持ちつつ素直に感情を表せるような人に、今年は近づけたらと思います。(日吉)



1 銅メダルを胸に会心のガッツポーズの福田くん①と福島くん②。2 自主トレ中の川崎宗則内野手から激励のサプライズ。3 4 ホークスの西戸崎練習場で指導を受ける両選手。5 カクテル光線できらめく札幌ドーム。6 大画面に映しだされた勇姿。7 金田ジュニアの仲間たちが福岡空港で出迎え。

Pickup Topics

● 福田蒼也くんと福島孝輔くんプロ野球ジュニアトーナメントで堂々の銅メダル

福智の若鷹北空翔る

札幌ドームを舞台に熱戦が繰り広げられたプロ野球ジュニアトーナメントで、永井智浩監督率いる福岡ソフトバンクホークスジュニアが3位と飛躍。福智町から金田ジュニアバッテリーが出場し、チームを勝利に導きました。



小学生が元プロ野球選手の指揮で戦う、NPB12球団ジュニアトーナメントが12月26日から3日間、札幌ドームで開催されました。この大会に、金田ジュニアクラブの福田蒼也くん(金田)と福島孝輔くん(神崎)がソフトバンクホークスジュニアの一員として出場。投手以外にもこなして1番バッターとして出塁し、チームに勢いを付けた福田くんと、マ



福岡ソフトバンクホークスジュニア永井智浩監督①、坊西浩嗣打撃コーチ②、田中瑞季守備走塁コーチ③。ホークスOBたちが、少年たちにプロの技術を伝え、夢を与えました。

クをかぶりリードや守備で投手を助け、積極的に声を出した福島くんの活躍で、ホークスは予選リーグを突破しました。日本ハムファイターズとの準決勝は1対1、3回1死1：2塁のピンチから福田くんが登板し、福島くんと金田ジュニアバッテリーで見事切り抜けると、6回まで無安打の快投。しかし最終回に四球からサヨナラヒットを浴びて力尽き、あとわずかで決勝行きを逃しました。4番やエース級が集まったチームで自らの役割に順応してしっかりと結果を残し、プレーだけでなく、礼儀や雑用など「普段から心がけていること」でチームを引っばった両選手。町から飛び出した野球少年が北の大地で大きく羽ばたき、さらにたくましくなっていく姿が印象的でした。